

なぜ虫歯はできるの？

ムシ歯のできかた



硬い歯を溶かすのはフラーク（歯垢）です。
正確にはフラークのなかにはたくさんのムシ歯菌（ミュータンス菌）です。



フラークが歯の表面にくっくと、フラークの中にあるムシ歯菌は食べ物に入っている糖質をエサにして、酸をつくります。



この酸が歯を溶かします。これがムシ歯です。
歯医者さんではうしょくといいます。

だ液が歯を守っています



脱灰

再石灰化

酸によって歯の表面から
ミネラル成分が溶かされる

溶かされた歯の
成分がもとにもどる

* だ液には、酸を中和する働きや、酸によって溶かされたミネラル成分を元に戻す働きがあります。
この働きが、溶かされる成分量に追いつかないとムシ歯になってしまうのです。

ムシ歯ができないようにするには

1. 甘いものを食べすぎない、特にショ糖を含むもの。（甘いものは、酸をつくりやすい）
2. よく噛んで食べる（だ液がたくさん出て酸を中和してくれます）
3. 間食をさけ、規則正しい食習慣にする（口の中に酸ができる状態を少なくする）
4. フッ素の入った歯磨き粉をつかう（フッ素を塗ることで、歯の表面が硬くなり酸に溶けにくくなるので、ムシ歯予防の効果があります）

こんにちは。
非常勤歯科医師の川端です。
先日今井院長、半田先生、
井上先生と一緒に北大歯学部
サッカー部のOBチームとして
白い恋人杯という大会に参加
してきました！



1日で4試合というかなりハードな
日程だったので、すっかり日焼けして、
しっかり筋肉痛になって帰ってきました。
結果もあと一歩のところまで優勝を逃してしまい残念でしたが、
いい汗をかいて充実した一日を過ごせました(〇)
久しぶりにスポーツするのは本当にいいものですね。 非常勤 Dr. 川端

最近のアイビー（犬）のブームは
脱いだシャツやズボンに入りこんで
くつろぐことみたいです♪
幸せそうだなあ（*^_^*）



院長 今井

4月から勤務しています、
常勤歯科医師の樋口です♪
先月、青森の実家に帰省してきました。
写真は、マグロで有名な大間町の
本州最北端の地で撮りました。
巨大マグロの像です（*^_^*）



患者様とのコミュニケーションを
大切にしたいと思います。
よろしくお祈りします！！ Dr. 樋口

★8月7日は七夕★

一般的に七夕は7月7日ですが、
北海道や東北地方では、
8月7日が七夕と
されています。
アイビー歯科でも笹の木と
短冊を用意しますので、
願い事をかいてみませんか？

